

# 大阪労山ニュース 2020. 12月号№418



2020年11月1日（日）広島県・池の段から比婆山御陵、吾妻山 紅葉も見ごろ、広島県内外の登山者でいっぱいでした。撮影者：新屋一恵（泉州労山機関部）

- 1 Voice 女性委員会（近藤あき子）
- 2～4 10月度理事会報告
- 5 20年度組織拡大についてのアンケート集計まとめ
- 6～7 教育遭対部のページ
- 8 冬山連絡会の開催案内
- 9 救助隊のページ
- 10 女性委員会のページ
- 11 子どもの冒険学校
- 12～13 各会・クラブの近況報告
- 13 白馬岳は「はくば岳」か「しろうま岳」か？（鈴木均）
- 14 山楽登山の世界 32
- 15 編集後記

当面の間、新型コロナウイルス感染防止のため、編集委員は集まらず印刷と配布は極力少ない人数で行うためB5・24ページの発行となりました。ご了承ください。

（編集長 大西）

## 大阪府勤労者山岳連盟

〒553-0006 福島区吉野 3-2-35 一般社団法人 大阪宣伝センター機関紙会館内

☎ 06-6467-8544 FAX06-6467-8545

## ☆☆☆VOICE☆☆☆

女性委員会担当（モンテス・近藤あき子）

昨年の今頃、女性委員会の2年越しの課題であった乾燥野菜を使ったレシピ集が仕上がり、配布を前にしてホッとしていました。レシピ集にはフリーズドライ等を使用して、個食ではなく共同食にして皆と一緒に食事をとの思いがあったのですが、今ではコロナ対策で食事は出来るだけ個食で取ることが多くなっていました。

コロナウイルスが確認されてもうすぐ1年となり、私たちの生活は大きく変わりました。しかし、春先の頃を思えば少しづつ変化してきたのではないでしょうか？自宅から街へ、そして山へも徐々に人が出かけ、紅葉のシーズンに登山を再開した方も多いと思います。

コロナ禍において登山はどうなのかを考えると、

- ・屋外である
- ・比較的少人数である
- ・1列に歩く

等があげられるが、それぞれ感染リスクが高くなると言われている三密（密閉・密集・密接）と照らし合わせると、それ程大きなリスクは無いと思います。しかし、山へのアプローチである電車やバスの他、トイレ、休憩時なども感染のリスクが伴います。特に女性は「おなご3人よればかしましい」とあるように、わたしも当てはまりますがマスク着用でもおしゃべりに花が咲きます。もう一度原点に戻り控えましょう。

この夏の猛暑では辛かったマスク着用もそれほど苦ではなくなり、むしろ冬には有難いのではないか。コロナ終息にはまだまだ時間がかかりそうですが、安全に登山を楽しみたいと思います。

また、先日「金剛山が今年の山岳遺産に認定」とのニュースが発表されました。山と渓谷社が2010年度から毎年認定しており、これまでに35か所が選ばれ、関西では大台ヶ原、比叡山、伊吹山に次いでの認定です。大阪労山で最も身近な山が選ばれたことは、大変喜ばしいことで、それほど多くの人に親しまれているということでしょう。

まだまだ制限された山行ですが、今できる対策を講じ、慎重に山を楽しみましょう。



## 2020 年 10 月度 理事会報告

日 時：2020 年 10 月 23 日（木）19：00～ ZOOM/事務所  
出席会：クラブ事務所 4 名 ZOOM 14 名、委任状：3 クラブ、  
常任理事：事務所 4 名 ZOOM 7 名（通訳 2 名）  
進行：高橋事務局長

### ◆子供の冒険学校（代近藤常任）

- ・秋の子供冒険学校：10 月 25 日(日)甲山北山公園ハイキング  
参加者：9/23 現在参加者 21 名・スタッフ 7 名：総勢 28 名

### ◆組織部（浜田副理事長）

- ・11 月末の各会の組織数の提出・・・〆切 12/17
- ・2020 年度組織担当者会議開催  
11/5(木) 19：00～21：00 連盟事務所  
参加者が少ないので各会 1 名（事務局・組織担当者等）の参加を是非お願いします。  
参加者が 15 名超える場合は ZOOM と併用で行います。10 月末までに OWAF メールかアドレスへ  
申込先：浜田 new2006hama\_mitu-meい@zeus.eonet.ne.jp

### ◆自然保護委員会（澤村常任）

- ・長野県自然保護課の情報希望にはオコジョは入ってませんが私としては、オコジョ情報も大切と考えます。

### ◆セミナー（代園理事長）

10/23 日に開催する方向で予定打ち合わせします

### ◆女性委員会（近藤常任）

- ・子供の冒険学校：秋 10/25・冬 1/30 予定女性委員会サポートします。
- ・来年度女性のための登山教室開催予定
- ・例会は現在リモート&事務所併用で毎月第 2 金曜日開催（変更有）まだ参加されていない会の女性委員の方参加してください。

### ◆平和と登山（大西常任）

第 50 回戦跡ハイキング：11/29(日) 和歌山県由良町軍事戦跡巡り & 白崎海岸

詳細は労山ニュース 11 月号 20P に掲載：（〆切 11/15）

後日 owaf メールで流します

問い合わせ及び申込先：大西清見（080-1460-3884）

\* コロナ感染対策を考慮して定員は先着 8 名とさせていただきます。

### ◆障がい者登山（佐々木理事）

来年 1 月に来年度開催するか相談する

### ◆障登 PT（山下常任）

#### ①「手話で学ぶ登山入門教室」

10/8 応急手当 参加者：労山会員 7名・非会員 3名計 10名

講師の柳川さんを迎える参加者の意識の高さがうかがえました。非会員も数名参加しております、これからが楽しみです。

10/27 登山計画書 10/22 現在 7名（定員 10名）協力宜しくお願ひします。

#### 【これからの予定】

11/18 読図（座学） 12/5 読図（実技） 12/8 雪山の基本 12/19 雪山実技

#### ②障登 PT 会議 11/9(月)19 時～連盟事務所

### ◆事務局（高橋事務局長）

2021 年度カレンダーの（B4 の横型、代金 1,000 円）

申し込みは FAX・メールでもいいです。受け取り支払いについては後日連絡します

### ◆教育遭対部（中川副理事長）

\* 事故：自肃明け特に注意を。全国連盟「緊急アピール」を紹介：全国では 5 月 1 件・6 月 12 件・7 月 23 件 8 月 30 件以上

8/8 前鬼川死亡事故：カラシクルン検証対策委員会が会で進行中。

第 2 回委員会に園・中川・高橋参加。しばらく会で進めてもらう。今後も参加していきたい。「裁かず、傷つけず、前に進める対応」の方針で連盟としてはのぞみたい。

#### \* 第 7 回岩登り体験教室

開校式と座学 10/30(水)連盟事務所 19:00～3 名でしめります。

非接触体温計：「子供冒険学校」から借用。体調自己管理の徹底を訴え、自覚を高める。

#### \* 冬山連絡会 12/17(木)理事会終了後

#### \* 第 19 回事故対策会議 11/16(月) やり方検討中

\* 救助隊：11/8(日)遭難対策訓練（大岩岳周辺）\* 労山会員ならどなたでも参加できます

申込先：上村 [owaf.rescue@gmail.com](mailto:owaf.rescue@gmail.com) メリット 10/25

\* 雪山縦走リーダー学校+はじめての雪山講習会

コロナ対応で憂慮（雪洞、冬テントは 3 密）。 11/2 合同打合せ

#### \* どの学校も困難を抱えています

・ 中級登山学校（大森）10/12 スタッフ会議

コロナ対応で憂慮。足を踏み出すのが著しく困難。主催者保険無しではやれない

「保険無しの車運転は不可」だ→雪山縦走リーダー学校（大見）+岩登り体験教室（西村）+はじめての雪山講習会（中川）も同意見

・ 主催者保険：中級（大森）を含め 4 校長同意見。→全国連盟は主催者保険を復活すべき。基金担当者会議 11/15 に反映できなか？

中川教育遭対部長：「大阪府連の学校運営にかかわる重大問題と重く受け止めている。

全国連盟は主催者保険を復活すべきである」

高橋事務局長：「途中経過の報告も相談もなく、決まったので通知、という進め方に異議を唱える。」

\*労山大阪府連の事故の記録 1998－2020 の編さん

- ・A4 で 120 ページくらい。2021 年 2 月発行めざして順調に進行中
- ・事故一覧表：新バージョンの入力が 95% 完了・解折の開始へ

\*百丈岩広場のトイレ修理約 10 万円の件（園理事長、中川副理事長）

破壊は上部配管でなく下部配管でした。

カンパの訴え文は園理事長が労山ニュース 11 月号に投稿。

労山近畿ブロック代表者会議でもカンパ活動を了承。岳連にもお願いしました。

\*その他

- ・全国連盟 60 周年記念集会参加について  
常任で議論した結果、常任からは参加無。
- ・近畿ブロック代表者会議報告（園理事長）  
21 年度の搬出講習会について、コロナ禍の中でどのように実施するか検討する。  
百丈岩広場トイレ改修カンパについて大阪より提案。11 月末をめどに、各県連 2 万円を目標に取り組む事にしました。

11 月理事会 11 月 26 日(木) ZOOM・事務所

以上文責 笠井

<組織部のページ>

2020年度組織拡大についてのアンケート集計結果&まとめ（33会）

作成：2020/11/5

会名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	合計	
入会者	1	2	1	10	1	0	2	9	2	0	1	1	0	0	5	1	3	0	3	0	6	0	0	3	0	0	1	2	0	1	3	3	0	61	
退会者	5	6	0	23	3	1	2	9	2	4	0	3	3	0	5	4	1	2	4	0	3	0	0	1	0	0	2	2	1	2	3	0	0	91	
増減	-4	-4	1	-13	-2	-1	0	0	0	-4	1	-2	-3	0	0	-3	2	-2	-1	0	3	0	0	2	0	0	-1	0	-1	-1	0	3	0	-30	
1.1. 新会員が加入した理由？																																			
①ホームページ等から加入	1	2	4					5	1					3		2		1													20	33 %			
②会員の勧め			1				2	2	1		1			1		1												1	1	3	14	23 %			
③新聞・雑誌から																															0	0 %			
④公開登山教室等参加				5			2													5	3										15	25 %			
⑤連盟学校セミナー関係		1											1	3														1	3	9	15 %				
⑥その他						1					1		1																	3	5 %				
																															61	100			
1.2. 会員が退会した理由は？																																			
①会員の老齢化による退会	1	17	1	2	9	1	1	1	1	1	2	2															2		40	44 %					
②山行の趣向の変化による	3						3	2		1		2															1			12	13 %				
③転勤など仕事の都合	1	4	1	1		1		1		2	2		1	3		1		1	1	1	1					1	1	21	23 %						
④その他	5	1	2	1						2	1	1	1													1	1	2	18	20 %					
			不明	育児	死亡																								出産介護	結婚	91	100			
2.1. 会員拡大の取り組み																																			
①積極的に話しあい	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	19	58 %				
②話し合いが少ない											1	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	36 %			
③全く話し合っていない												1															1		2	6 %					
2.2. 実施内容																																			
①ホームページ(又はブログ)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	27	82 %				
②メーリングリスト	1	1				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	27	82 %				
③会報発行						1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13	39 %				
④ブログ・HPに山行記録	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	18	55 %				
⑤新聞へ掲載							1			1								1												3	9 %				
⑥山の店等にチラシ	1						1											1	1										5	15 %					
3. 新型コロナの影響																																			
総会の実施	9月	3月	未	○	○	3月	※	○	3月	※	3月	※	7月	3月	○	5月	○	7月	未	書	書	6月	7月	4月	未	未	3月	※	6月	※:実施していない					
室内例会の実施	※	7月	○	○	○	6月	○	6月	7月	7月	5月	7月	未	6月	7月	7月	7月	6月	6月	書	書	6月	7月	4月	未	9月	6月	6月	4月	書:書面審議等で実施					
リモート会議等の実施	○	○					○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○:実施が未定				
例会山行の実施	8月	7月	○	○	7月	7月	9月	6月	7月	7月	6月	9月	未	7月	10月	7月	7月	7月	6月	6月	6月	6月	6月	6月	未	8月	7月	7月	空欄:回答がなかった						

<2020年組織拡大アンケート集計結果のまとめ>

2.2. 実施内容

1.1. 新会員が加入した理由

ホームページ等のSNSにより入会している人が多い

次に、会員の勧めや公開登山教室から入会する人もいる。

1.2. 会員の退会理由

会員の高齢化によって退会する方が最も多い。

次に、仕事や家庭の事情で退会している。

2.1. 各会の会員拡大の取り組み

積極に話し合っている会が増えている(過半数以上)

HPやブログなどのSNS(会の紹介や入会募集)をしている会が増えている。

会報の発行が減少し、山行記録のHP等への掲載が増加。山の店へのチラシや新聞掲載が減少

3. 各会の新型コロナの影響

総会は70%(21会)の会が総会を実施した。未定及び実施していない会が8会(24%)ある。

室内例会・例会山行は6月頃から実施はじめ、7月、8月と徐々に実施する会が増えている。

<その他>

会員数が減少した会が14会、増加の会は6会 全体で-30名であった。

会の講習会や連盟のセミナー等からの入会者も多いが、今年度はコロナの影響から減少が予想される

# 教育遭対部のページ

## 1. 大阪労山「山の教室」

大阪労山教育遭対部主宰の「山の教室」は新型コロナウィルス対策のため、リモートでの開催と事務所での人数を制限した形での開催に分けて実施しております。お間違えの無いよう、開催場所の確認をお願いいたします。

### ◆12月の講座

#### ■ 数値予報天気図の種類と読み方(座学)

日時:12/9(水)20:00～21:30

場所:リモート開催(Zoom利用)

費用:500円

申込:<https://ws.formzu.net/dist/S91578159/> ※11/1から



現在の天気予報はコンピュータで数値的に計算した結果を基にしており、その計算結果を図示化した天気図を「数値予報天気図」といいます。気象庁等からいろいろな種類のものが発表されていますので、その中から登山に役立つものを取り上げて解説します。受講レベルの目安は、「高層天気図の基礎」を受講した人(未受講だが同レベルの人)、高層天気図の予想図の知識を得たい人、を想定しています。

#### ■ 遭難事例研究(積雪期) 実用編 座学

日時:12/15(火)20:00～21:30

場所:リモート開催(Zoom利用)

費用:500円

申込:<https://ws.formzu.net/dist/S78976992/> ※11/1から

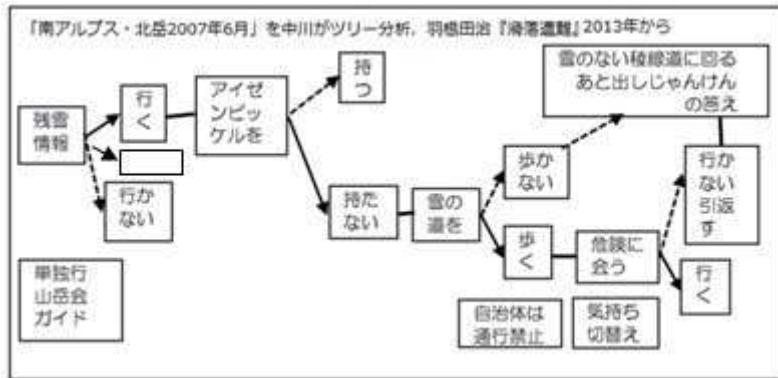


- 事故が起きた時、労山大阪府連の仲間たちは、どこにまず連絡し、どのように行動して対処してきたのでしょうか？今回は、労山大阪府連救助隊の結成の契機となった1974年3月23日と25日の、鹿島槍ヶ岳赤岩尾根での雪崩による二重遭難について学びます。当時の関係者もお招きして[文献1]をもとにこの事故の分析をあらためて行い、再発防止を学び考えていきます。受講希望者で[文献1]をご希望の方はお申し出下さい。
- 実用編として短時間で、事故のツリー分析の実習をします。[文献2]学習院大学山岳部2015年2月9日阿弥陀岳事故の教訓を深く学ぶため、経過報告書[文献2]を会場で実際に読みながら、講師中川といっしょに、ツリー分析図を作りましょう。ていねいに手ほどきしますので、初めての方もご参加下さい。ツリー分析の見本として、6/18 この講座の入門編で紹介した北岳での滑落遭難のツリー分析図を下図に示します。

[文献1]大阪府労働者山岳連盟『鹿島槍ヶ岳赤岩尾根遭難報告』PDF文書をご請求下さい。

[文献2]野村仁・学習院輔仁会山岳部(協力)『学習院大学山岳部、阿弥陀岳遭難事故の概要』

でネット検索。ダウンロード可。



## 2. 事故一覧

事故一覧

No.	年月日 /時間	氏名 /所属会	山域	状況・要因など
2019 年度 19	2020/2/10 11:30	HY(男性) 55歳 大阪ぼっぽ会	白馬連峰 白馬コルチナ スキー場	2020/2/7~2/11 の日程で山スキー訓練を白馬周辺のスキー場で実施。訓練3日目に白馬コルチナスキー場コルチナ第4ペアリフト(最上部リフト)から通称“裏コルチナ”コースを滑降。コース中間付近で大きな段差を降りた際にスキー板が深雪に刺さり膝を中心になじるように転倒。自力での下山を行うが、膝の違和感があり翌12日は宿舎で待機後帰阪。傷病名:左膝十字靭帯断裂
2019 年度 20	2020/2/1 14:30	HM(男性)47歳 泉州労働者山岳会	大峰山脈 稻村ヶ岳	稻村ヶ岳に単独登山で入山。下山時、法力峠まで12本爪アイゼンを着用していたが、ほとんど雪もない登山道であったため、アイゼンを外した。下山を再開したが、1095m付近で左足を滑らせ転倒し、左足首を捻挫。立ち上がると左足に痛みがあったが通常の3倍の時間をかけ自力下山した。傷病名:左関節捻挫
2019 年度 21	2020/3/7 14:00	KU(男性) 32歳 豊中労働者山岳会	六甲山系 不動岩東壁 3級ルート	パートナーと2人で不動岩東壁3級ルートの2ピッチ目登攀中、バランスを崩して5~6メートル落下。その際、岩に身体をぶつけて痛みがあったため登攀を中止し自力で懸垂下降し歩いて下山。傷病名:左坐骨骨折、両踵骨挫傷
2020 年度 1	2020/8/2 11:30	FI(女性) 77歳 豊中労働者山岳会	北撰山系 箕面山	オケ原林道から約750m入った勝尾寺南山へ至る山中。山道の樹木の脇から出ていた木に左足首あたりを引っ掛け前方向に転倒する。運悪く石が露出した所で右膝を強打した。傷病名:右足膝皿骨折
2020 年度 2	2020/8/8 16:05	AS(女性) 73歳 山の会 カランクルン	大峰山脈 釧路岳 前鬼川 大滝	14時頃、事故者のSさんは、滝壺に転落したが、無事に救出できた。そこで、遡行を打ち切り、同ルートの下降を開始した。現場の「大滝」上部にさしかかり、16:05、幅3m、水深20cm程の水流に足をとられ、流されて行方不明になった。おそらく、2段目の滝(10m)に転落したと思い、滝壺に向かうが、滝壺に接近できず、救助要請をすべく、車に急ぐ。100mほど下った所で、水流にうつぶせで横たわるSさんを発見。水流から引き上げて、心臓マッサージを施すもパイルサインは見られなかつた。メンバーの一人、看護師に脈を診てもらうが、「振れておらず」、救助要請を急ぐことにした。18:00車に到達し、電波の通じるところまで走り、国道口で110番通報した。傷病名:外傷性ショック死
2020 年度 3	2020/8/8 14:00	TH(男性) 68歳 山の会 カランクルン	大峰山脈 釧路岳 前鬼川 「豪快な6m 滝」	14時頃、死亡事故者のSさんは、「豪快な6m」滝の滝壺(「ドーナツ状の淵」)に転落した。Hは、Sさんを救助するため、滝壺に飛び込んだ。その際、滝壺の中の岩に臀部を打ちつけた。Sさんは無事に救出でき、遡行を打ち切り、同ルートの下降途中、Sさんは「大滝」上部で、再度、滑落し、死亡した。Hは翌日(8/9)、Sさんの搬出などのち帰宅し、翌々日(8/10)、ベッドより起き上がりせず、救急車で病院に運ばれ、圧迫骨折が判明し入院した。傷病名:第2腰椎圧迫骨折
2020 年度 4	2020/8/14 12:30	KK(男性) 29歳 白峰山の会	北アルプス 前穂高岳	奥穂、前穂登頂後、紀美子平を11:30頃出発。12:30頃重太郎新道で歩きながら汗を拭いたタイミングでつまずき前側に転倒、高さ3m程の岩場から滑り落ちるように転落し、登山道上で停止した。同行者に全身をチェックしてもらう。右手首が大きく腫れていた為アイスバックを当てタオルで固定し、そのまま自力下山した。帰阪後の翌8/15に受診。傷病名:右手首骨折
2020 年度 5	2020/10/25 11:30	TO(女性) 66歳 山の会 カランクルン	中国山地 氷ノ山	鳥取県若桜町の氷ノ山キャンプ場 登山口 925m から登り始め、氷ノ山に登頂後、氷ノ越コースを下降。まもなく登山口に到着するというところで、丸太階段すべり、尻もちをつきそうになって、思わず右手を突いたところ痛みが走った。翌日、診察の結果、右手首を骨折していた。傷病名:右手首骨折

報告件数 8件 (内 昨年度分3件) (昨年度同時期4月-10月 13件)

教育遭対部よりお知らせ

## 冬山連絡会を開催します

教育遭対部事務局 正田 吉継

教育遭対部は12月17日（木）午後8時ごろより、「冬山連絡会」を連盟事務所とZOOMによるリモートの併用で開催いたします。

まだまだ猛威を振るうコロナの注意点と対応策、コロナ禍の山小屋の状況、冬山特有の気象の話、低体温症の話などをお話していただく予定です。きっと皆さんのお山行のお役に立てるはずですので、ふるってご参加ください。

●日時：12月17日（木）午後8時頃から（理事会終了後）

●場所：ZOOMによるリモート

大阪府勤労者山岳連盟事務所（15人限定）（大阪市福島区吉野3-2-35、一般社団法人大阪宣伝センター機関紙会館内）

●内容：コロナウィルスの注意点と対応策

コロナにおける山小屋の状況

冬山の特徴的な気象

低体温症と凍傷の話

（計45分程度を予定しております）

・Zoomミーティングに参加する（以下のQRコード）



・ミーティングID：[REDACTED]

・パスコード：[REDACTED]

理事の皆さんだけでなく、ご关心をお持ちの一般会員の方もぜひ参加してください。お待ちしております。

## <救助隊のページ>

**大阪労山の会員の皆様** 大阪労山救助隊の 2021 年雪山搬出訓練のお知らせです。

### \*\*\*\*\*雪山搬出訓練のご案内\*\*\*\*\*

日 時 : 2021 年 1 月 24 日 (日) 8:00~14:00 頃

集合場所及び前泊場所 : 正面谷のトイレ付近 (イン谷口上部) の駐車スペース

内 容 : 雪崩事故発生時のビーコンを使った埋没者の捜索方法・掘り出しと搬出。その他の訓練を予定。

参加対象 : 救助隊員に限りません。労山会員ならどなたでも参加できます。

ただし、参加内容につきましては経験・技量に応じてこちらで判断させていただきます。

注意事項 : 自己の安全を確保できる方に限ります。訓練中の怪我は、自己責任となります。ご了解の上ご参加願います。

ビーコンの操作方法はお教えしません。操作方法は事前に習得しておいてください。

コロナウィルス感染症の流行状況により訓練が中止となる可能性もあります。

持 ち 物 : 12 本爪アイゼン、ビーコン、スコップ、ゾンデ棒、スノーソー（刃先 30 cm の所にテープで印をつけておく）、ハーネス、ヘルメット、ピッケル or ストック、冬山装備一般、登攀装備、可能な方は無線機をお願いします。宿泊する方は宿泊道具など。

※訓練用のシートが不足しています。不要なテント、ツエルトの寄付も募ります。

申し込み先 : 1 月 15 日までに下記内容を記載のうえご連絡ください。

メールアドレス : [owaf.rescue@gmail.com](mailto:owaf.rescue@gmail.com)

メールの件名 : 「雪山搬出訓練参加」

内容 : 氏名・所属会・連絡先・住所・生年月日・血液型・緊急連絡先

※1 月 23 日(土)は、救助隊員対象の雪山救助訓練を行いますので、救助隊員の方はあわせてご参加下さい。詳細は追って案内致します。 (コロナ対策 : テント持参をお願いしています)

雪山搬出訓練担当 : 松芳、近藤

# ▲△女性委員会ページ△▲

☆10/24(土)近畿ブロック女性委員会・・場所：府連事務所 10：00～

和歌山1・奈良1・兵庫3・京都1・大阪2 計8名

① 各県連・府連の近況報告

② 近畿ブロック女性委員会では委員会の歴史を冊子化し50年余りを振り返る  
最終打ち合わせをしました。

③ 11月21日(土)有志交流山行の件

以上話し合いました



☆10/25(日)こども冒険学校秋のハイキングへの協力・・場所甲山

スタッフ3名参加・・天気も良く楽しかった。

リーダーより先に進む子、マイペースに寄り道する子にスタッフは四苦八苦しました。

☆毎月の例会はラインビデオ電話と事務所との併用で頑張っています。

そんな中でも新たに2名のメンバーが誕生し頑張ってくれています。

まだ女性委員会に入っていない会から1人でも多く参加してもらえるように、  
私たち女性委員会が楽しく生き生きと活動していきたいと思います。

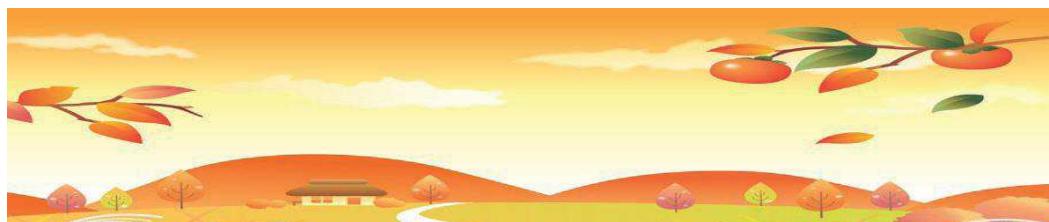
各会よりの登録を引き続きお願いします・・・

## ☆第26回女性のための登山教室開催します

コロナの影響で中止になるかもしれませんのが2021年度3月に開催予定

色々な状況に気を付けながら定員も10名と少人数で考えています

チラシ配布1月予定



## コロナに負けるな！ 楽しかったよ冒険学校 2020年

今年は新型コロナウイルス蔓延のため、当初予定の泊まりのキャンプではなく、日帰りの沢登りを実施しました。それでもコロナ第2波のため1ヶ月遅れでどうにか開催することができました。子どもは8人、父兄スタッフ合わせて26人の参加でした。

場所は、裏六甲 有馬温泉近くの 蓬山峡。駅から歩いて行ける所にあります。  
来年の夏には、皆さんの会でも会員家族を連れて沢登りを楽しんではいかがでしょうか？



## 冬の子どもの冒険学校 募集中

【日 程】2021年1月30日（土）日帰り 雨天・雪不足の場合中止  
【場 所】滋賀県大津市 イン谷口（旧 比良スキー場 手前）  
【費 用】交通費など各自負担 保険と温かい飲み物代 大人子ども 500円

**KONK 会長・仲弘栄**

KONK コロナ禍の活動状況（7～11月）2020.11.20記

6月のコロナ自粛解除後の活動は従来通りに戻りつつあります。月2回の例会山行、月2回の集会を計画、実施しています。ただ山行は近郊の山が多くなり、泊まりの山行等は少なくなり夏山合宿は計画を断念いたしました。また年2回実施している障がい者ハイクも春に続き秋も中止となりました。ただ個人山行は割と活発に行われています。三密を避け少人数で山行後の反省会も極力しないなどの方針で行われています。集会も月2回の内1回はZOOM会議を実施しています。なかなかスムーズにはいきませんが少し慣れてきたかなあ～という感じで試行錯誤しています。ただここに来てコロナの拡大が急速です。私たちの活動も予断を許しません。早く普通に山に行ける日が待ち遠しいです。

**大阪ぽっぽ会 辻本享弥 KONK 会長・仲弘栄**

ぽっぽ会では秋入会の方対象の新人訓練を約半年かけて行います。そして、雪彦山地蔵東稜等のアルパインクライミングの入門ルートをセカンドで登る終了山行を経験してもらいます。コロナのために、一時中断していたこの新人訓練も、密を避けるために会の訓練会はおこなわない・パーティー毎の訓練とするなどの工夫をしながら、何とか終えることができました。終了山行も各パーティー毎の山行計画とし、すべての新人さんに仲間と作り上げるアルパインクライミングのすばらしさを体験していましたと自負しています。月一回の例会・運営委員会は、zoomを使ってのオンラインで実施しています。毎年、雪山シーズン前に、蓬莱峠で、ピッケルアイゼンワーク・ビーコン等の雪山基礎訓練を会として行うことになっており、今年も準備を進めてきました。しかし、コロナ感染急増との報道を受け、開催を見合わせるべきではという意見もあります。この訓練会の今年の担当者は私なのですが、今、分散開催や人数の絞り込み等、いい方法がないか思案しています。

**H.C.teruru 戸田佳子**

月に一度の例会山行は、7月から再開しています。

7,8月はパーティー1組あたりの人数を制限して開催しましたが、9月以降、コロナ禍前と同様に、参加者全員で行動しています。ただし、以前は努力参加でしたが、今は自由参加と位置付けました。再開に向けて、運営委員会では時間をかけて協議を重ねましたが、最後は個人の考え方や行動に委ねるしかないのでは、という考えに至ったからです。

また、定期的に頂く問い合わせにお応えする為、10月からは一般参加者も受け入れています。11月は会員16名、一般参加者2名の合計18名でした。室内例会も、会場の規定を守りながら、以前と同様に開催しています。こちらも努力参加から自由参加

に変更しています。

最近、一日あたりの感染者数が過去最多を更新する日が続いますが、現在は、会行事に対する意見が出ていない為、個人の判断に任せています。

### 吹田労山 事務局・三嶋由起子

総会から5月までは中止・休会等大変でした(労山ニュース7月号で報告)。

6月から運営委員・例会そして山行も感染リスクを考えながら再開しました。事務所でしていた運営委員会は蜜になる。例会も常時使用の会議室では蜜と広い会議室を借り現在に至っています。

再開後少し手探りもありましたがみんなの歩きたい気持ち・コロナの小康状態もあり現在では毎年と変わらない位の山行件数となっています。バスハイクについては例年通り実施するかどうかを考えた末、人数制限をし、go-to キャンペーンを利用して乗鞍山行を実施しました。が 積雪のため畳平へのバスは運行中止となり高原ハイクに変更。反面三段紅葉が見られ満喫できたとの事です。

他に、当会での課題は高齢化です。年齢に関係なく元気、元気の人もいるのですが、通常の山行とは別に1日の歩行時間・高低を加味しながら年齢に合わせた山行も計画、名付けて「健康ハイク」(以前よりあったが自然休止)を再始動しています。

11月に入り新型コロナの第3波到来と言われていますが規制のない中、山行を続けるには昨今緩んでいるかな?の気持ちを引締め自己管理のもと感染対策徹底です。

### 白馬岳は、「はくば岳」か「しろうま岳」か ②

大町労山・泉州労山 鈴木均

つまり断定はしていないが、「代馬岳」(白馬岳)は作られたのであり、白馬岳でいいのだと。私も「ハクバ岳」と誤った呼び方をあえてしているという負い目を感じる必要はないのだと思った次第である。

子馬の雪形



白馬に10年住んで雪形と代搔きの関係には個人的に若干の疑問を持っていた。それは、「代搔き馬」の雪形は3月でも見えるし、本当に代搔きと関係があるのか、実際には小蓮華山の稜線近くにわら細工のような子馬の雪形が出る頃に村内での代搔きは始まっていると以前から感じていた。何かの本で、お百姓さんは子馬の雪形を田植えの目安にしていたというのを読んだことがある。

いずれにせよ、白馬岳や爺ヶ岳の種まき爺さんや鹿島槍の鶴と獅子、蝶ヶ岳の開いた蝶など、里から見える雪形には浪漫がある。奥深い山の穂高や槍には雪形はない。あるかもしれないが、里から見えることがないため昔の人には縁遠いものだったのだろう。

## バブルは登山の再生を助けるか？

OWCC 中川和道 2020.11.18

ソーシャル・バブル<sup>1)</sup>という言葉をご存じだろうか？人類は過去に何世紀も、特効薬もワクチンもない状況の中で感染症に対抗してきた。その中で編み出した小さなグループ(固い結束の『となり組』パンデミック版か？)を、バブルというのだそうだ。その効果を学術雑誌ネイチャー6月号がコンピューターシミュレーションで検証し、相応の成果を見出した。5月頃からMITテクノロジーレビューなど<sup>2,3)</sup>が何度も取上げてきた。至近の例は、農水省の4人会食指針<sup>4)</sup>だ。そのソーシャル・バブルの理論を、登山活動に応用しようと考えた人々がいる。本人にはお尋ねしていないのだが、大城和恵先生の10月31日講演<sup>5)</sup>は、その例のひとつではなかったか？

中川の自己解釈で内容をまとめる。(0)最も身近な行動単位は家族だ。だからコロナ自粛が明けた後に「登山の再開は家族単位から」と言われた。今回の行動単位はもう一歩進んで、STEP2の「新しい少人数グループ」である。これを中川は勝手に「山行バブル」とここでは呼ぼう。大城先生のルール<sup>5)</sup>を（間違っているかも？）適用すると、(1)バブルの人数は4名で固定する、(2)同じ会などすでにつながりがあること、(3)講習会などの場合は、室内実技や座学などと山行と同じメンバーとする、(4)この行動単位の中でのみ資材装備を共有する、(5)複数のバブルが同時に登山することは可能だが、バブル間の交流や資材装備の共有は行わない、(6)緊急時(身体生命に危険が及ぶ場合)には適切な感染防止対策をとったうえで、バブルどうしの支援を許容し得る、(7)単位メンバーを変更する場合は、最後の山行から2週間経過後に行う。さてこれをお々にどう具体化していこうか？

(a)ピークハント・縦走・一般登山の場合、4名は妥当な数だ。(b)クライミングではどうかと考えた中川の案は「3名バブル」だ。(c)大きなパーティーや登山学校はバブル1、バブル2、バブル3などの合同パーティーで作る。さらに上記(1)～(6)の考え方を適用すれば、一応の形式は整う。

以上が中川の勝手な聞き取りである。さらに考えてみよう。農水省の会食指針が「4人」という理由は、罹患確率が下がるからだけではない。大城先生の10/31講演では違った表現だったが、「感染経路の追跡の正確さを上げるために」である。すなわち、今や、誰もが感染するのだ。山岳事故と一緒にで、まさしく「明日は我が身」だ。自分が感染したら直ちに経路調査に協力し、抑え込む準備を、バブルによって登山界全体が共有しようね、と言っているように中川は思う。

「3名バブル」の仲間は、きちんと体温を測り体調を管理しよう。もし事故を起こしたら、救助隊の方に「平熱は36°Cです。コロナの症状はこの6日間ありません」とはっきり言えるのが、withコロナ時代の登山ではなかろうか。体温の管理などをしない人が、もし、いたら、その人には「ザイルを組みたくない」と中川は言おう。体調の自己管理を前提とした登山をやりたいのだが、いかがだろうか。

<sup>1)</sup>MITテクノロジーレビュー、「社会復帰への第一歩「バブル生活」」、2020.05.25。

<sup>2)</sup>MITテクノロジーレビュー、「社会的バブル」戦略、2020.06.28。

<sup>3)</sup>Forbes ソーシャルバブル大事に、2020.09.13. <sup>4)</sup>井戸知事「GoTo4人に」、神戸新聞 2020.11.17。

<sup>5)</sup>大城和恵「登山の新型コロナウイルス感染防止対策」、登山研安全登山サテライトセミナー(兵庫)、2020年10月31日-

11月1日。

## 編集後記

10月3日（日）～4日（月）、どうしても行ってみたかった南紀の地学の旅に。3日は由良町へ、元和歌山県立高校の地学の先生・池本護さん（84歳）に白崎海岸を案内していただきました。白崎海岸は古生代の生物の化石が豊富で海外からも地学研究者がたくさん来られるそうです。この日も池本さんのアドバイスで紡錘虫やウミユリの化石を見つけることができました。左の写真の中央の二つの長方のものがウミユリ、今から3億年前の海底で化石となって残ったそうです。白崎海岸は変化に富んだカルスト地形としても見どころがあるので次の機会にはもう少し予習をして来てみたいと思いました。



ウミユリの化石



天鳥の褶曲

4日はすさみ町へ南下しました。目的は天鳥の褶曲（天鳥はあまどり、現地の地名です）、南紀熊野ジオパークセンターの山本正さんに案内をしていただきました。今から4000万年～2000万年前、沈み込む海洋プレートの陸側に海底の地層を押し上げて写真右のような褶曲地形ができました。この天鳥の褶曲に行くには、干潮時に海岸沿いの岩場を伝って行くので少し岩トレの技術も必要です。地球の歴史はスケールが大きいですね。ちなみにヘルメットの人物は筆者、いつか大阪労山のみなさんとこの天鳥の褶曲にもう一度訪れてみたいと考えています。（大西）

\*\*\*\*\*  
今月も各会より会報を送っていました。 安治川山の会ニュース（安治川山の会）、やまなかま（泉州労山）、きたろうニュース（きたろうHC）、にしよど（西淀労山）、ぽんぽん山（高槻）、こもれび通信（山の会こもれび）、福岡県連通信、労山おかやま、やまと友の会、京都労山、噴煙（鹿児島労山）、兵庫労山会報、県連ニュース（和歌山労山）

発行日 2020年（令和2）11月26日 №418

編集・発行 入澤、笠井、園、高橋、中井、中尾、大西清

\*\*\*\*\*